

# 下 落 合 東 山 稻 荷 神 社 界 隈









## 由緒

当社は、かつて此の地方を統治された、清和天皇の皇孫源経基という御方が、今より約一千百年前、醍醐天皇の御世、延長五年初午の日に京都稲荷山より勧請御遷宮申し上げた御社であり、

「稲荷神社」(富士稲荷神社)とも申し上げております。

当社は源経基を始め、源家一族の守神として大変厚く信仰されました。その由縁は、当時平将門が謀逆を企てた折、当東山稲荷の大神様よりその旨御神託あり、経基は早速忍者を走らせ調査した処御神託の通りだったため、香の許しを頂き、これを平定致しました。この功により、帝より源姓を賜った経基は、以来東山稲荷神社を源氏の氏神様として一族で崇敬することとしたりと伝えられております。

やがて時代の流れと共に、武家のみならず庶民の信仰も厚くなり、「知恵と勇氣」を御授け下さる福徳の神様として、その信仰者は農商業、芸能方面と広く江戸市中間東一円に増えていったとのことです。

## 御祭神

宇迦之御魂大神(うかのみたまのおおかみ)

伊勢神宮外宮と御同神といわれ、衣食住の大神にましまし、一家の和合、商売繁盛を守護する神様です。

大宮能売大神(おおみやのめのおおかみ)

神楽舞踏の始祖神にましまし、歌舞音曲、長寿を守護する神様です。

佐田彦大神(さだひこのおおかみ)

交通、通商貿易を守護し、万事善方に導いて下さる神様です。

## 東山稲荷神社々務所









## おどめ山公園とホタル

おどめ山公園前はかつてはホタル習いの名所として知られていました。  
江戸名所図会の「落合堂」には江戸時代のホタル習いの様子が描かれています。うちわをもち、長い竹竿を振り廻す子、手のひらで遊ぶ者が見えます。この図会は、栗山藤福荷か、おどめ山付近を描いたものと思われます。

また、江戸自慢三十六興の「落合ほたる」からもホタルを楽しんでいた当時の様子がうかがい知れます。

このように、かつて、この地がホタルの名所であったことから、新宿区では、昭和48年からこの公園でホタルの飼育を始め、昭和53年からは毎年ホタル観賞会を開きました。

その後、平成13年に地元の「落合堂を育てる会」の方々に引継ぎ、現在は地域の方々の手によって活動が続けられています。

「落合堂」/江戸名所図会  
(新宿歴史博物館蔵)

「落合ほたる」/江戸自慢三十六興  
(新宿歴史博物館蔵)

氷川神社の地図に載っていた稲荷神社を目指して歩いたがなかなか見つからない。おとめ坂を上っておとめ坂公園の管理事務所で聞いたら今来た道を下って途中の住宅街の裏だそうで、やや萎えた。住宅街と小高い山の境界辺りに稲荷神社があった。何度か上り下りを繰り返したため、やや疲れた。この後さらに目白駅まで学習院のそばを歩いた。途中切手博物館なるものがあったので立ち寄った。入ってみたが優良であるんも関わらずあまり面白くなかった。展示物、企画にもう少し工夫がほしい。学習院のわきの道は目白駅まで上り坂であったため、やや疲れた。